

渡辺 信一郎

◆著作活動

- *『中華の成立 唐代まで』シリーズ中国の歴史①、岩波書店、2019年11月 227頁
- *「気の中国通史——趙翼『廿二史劄記』（新書余滴）」岩波新書編集部「B面情報」2020年1月(<https://www.iwanamishinsho80.com/post/choyoku>)
- *「20年のあゆみ」京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター創設20周年特集、京都市立芸術大学広報誌「京芸通信」Vol.25 2020年1月

◆講座・講演活動

- * 2019.7.4「亀茲から京都へ—散楽・蘇莫者の旅」2019年度第3回伝音セミナー
- * 2019.11.27「封禅祭儀と唐王朝の「平和」」愛知大学国際コミュニケーション学部国際教養学科2019年度「アジア共同体の平和学—その21世紀における戦争と平和」第8回 統治をめぐる儒家—イスラーム・コネクション(2)、愛知大学名古屋キャンパス
- * 2019.12.13「亀茲到京都—散楽《蘇莫者》の旅—」中国・山東大学芸術学院、山東大学威海キャンパス

◆委員会

教育研究審議会
 全学人事組織委員会
 全学国際交流委員会
 芸術資源研究センター運営委員会
 安全衛生委員会

◆対外活動

黒川古文化研究所理事

◆所属学会等

東洋史研究会
 歴史学研究会
 歴史科学協議会

◆所長室の訪問客

- *2019年11月29日 中国音楽家代表团 韓新安 中国音楽家協会副主席・秘書長、于紅梅 中央音楽学院副院長、劉英 上海音楽学院副院長、高雁 武漢音楽学院副院長ほか5名

藤田 隆則

◆著作活動

- * 2019.11 編集（丹羽幸江との共編）『語りの立体化そして復曲—狂言、能、題目立』京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター主催第55回公開講座、当日配布用パンフレット、2019年11月16日、全32p.（このうち単著エッセイ「開催の趣旨」（p.1）、上演資料「題目立《石橋山》復活上演詞章」（pp.18-20）、上演資料「題目立《石橋山》の概容」（pp.28-29）を執筆）
- * 2019.11 論文（単著）“Layers and elasticity in the rhythm of Noh songs: taking ‘komi’ and its social background.” *Thought and play in musical rhythm*. Eds. Richard Wolf, Stephen Blum and Christopher Hasty, Oxford University Press, 2019, pp.212-231
- * 2019.11 研究ノート（単著）「題目立の旋律型」『日本伝統音楽研究』第16号、pp.43-59
- * 2019.12 論文（単著）“The Community of Classical Japanese Music Transmission: The Preservation Imperative and the Production of Change in Nō.” Translated by Edgar W. Pope. *Ethnomusicology translations* no.9, pp.1-41, 2019 (<https://scholarworks.iu.edu/journals/index.php/emt/article/view/28817>) DOI: <https://doi.org/10.14434/emt.v0i9.28817>
- * 2019.10 インタビュー記事「まずやってみる、民族音楽の実践と学習」『ASSEMBLY（アッセン

- ブリー) 京都に劇場文化をつくる』4号(2019年10月27日)、p.35
- * 2020.03 単著エッセイ「伝承を科学するーコトバ・フシ・ウタ」『道標(仏教を身近にする伝道誌)』2020年春季号(2020年3月1日)、p.4
 - * 2020.03 編集協力『能は面白い 羽衣(DVD)』(伝統音楽普及促進事業実行委員会編)、2020年3月刊行
 - * 2019.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(13)ー譜字の母音と音の高低」『楽報(都山流楽報)』1121号(2019年5月号) pp.2-3
 - * 2019.07 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(14)ー音曲における顔振り」『楽報(都山流楽報)』1123号(2019年7月号) pp.2-3
 - * 2019.09 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(15)ー歩行の行程と音楽の行程」『楽報(都山流楽報)』1125号(2019年9月号) pp.2-3
 - * 2019.11 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(16)ー音曲の理想を言い表す言葉」『楽報(都山流楽報)』1127号(2019年11月号) pp.2-3
 - * 2020.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(17)ー平成末期の尺八案内」『楽報(都山流楽報)』1129号(2020年1月号) pp.2-3
 - * 2020.03 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(18)ー七五調四拍子論と「変拍子」」『楽報(都山流楽報)』1131号(2020年3月号) pp.2-3
- ◆口述活動
- * 2019.05.04 講演「能と仏教について」名古屋：本願寺名古屋別院
 - * 2019.05-07(毎週水曜日、全10回)講義「能の地拍子や謡の旋律型を理解するー羽衣の解剖」令和元年度前期 京都市：京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
 - * 2019.06.04 小学生向けワークショップ「能の音楽」京都市：御所東小学校
 - * 2019.06.11 小学生向けワークショップ「能の音楽」京都市：河村能舞台
- ◆プロデュース活動
- * 2019.11.16 司会担当「語りの立体化そして復曲」(第55回公開講座)、京都：京都市立芸術大学
 - * 2019.12.03 講演「能の音楽的基盤：声の主体の変容」(観劇観能 エクスチェンジ・プログラム2019) 京都：アンダースロー
 - * 2019.12.05 解説「能〈羽衣〉の楽譜」(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター後期期セミナー(伝音セミナー) 令和元年度第8回) 京都市：京都市立芸術大学
 - * 2020.01.18 小学生向けワークショップ「能楽の声とリズムをまねできるようになろう」京都：京都市立芸術大学
 - * 2020.02.05 講演「伝統芸能の言葉のかたちについて」本願寺文化シンポジウム「伝統芸能に刻まれた仏教のこころーその表現力に学ぶ」京都：本願寺聞法会館
 - * 2020.02.16 曲目解説「屋島」(FM能楽堂) NHKFM 放送(2020年2月16日午前6時より)
- ◆調査・取材活動 ok
- * 2019.11.16 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター主催令和元年度第1回公開講座(通算第55回)「語りの立体化そして復曲ー狂言、能、題目立」(東洋音楽学会大会との共同開催)、京都市：京都市立芸術大学
 - * 2019.05月-10月 能楽における「呼吸」の分析・理論化のための実験の組織および楽器演奏(実験日：5月31日、9月10日、10月17日)(日本学術振興会領域開拓プログラム(代表：中川志信)「日本の伝統芸能における技法やコンテンツを先端ロボット産業に活かす UX デザイン研究」)
 - * 2020.01月-03月 能楽〈羽衣〉キリを歌うためのリズム教材開発と拍子の実演(『能は面白い 羽衣(DVD)』(伝統音楽普及促進事業実行委員会(編)、実演映像所収))
- ◆学内活動 ok
- * 教育研究審議会委員

- * 国際交流委員会委員
- * 附属図書館・芸術資料館運営委員
- * 人事組織委員会委員
- * 大学院音楽研究科兼任(日本音楽研究専攻の授業担当)
- * 学内非常勤(担当科目:民族音楽学 1b(前期) / 音楽学(前期))

◆対外活動 ok

- * 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師(2019.09-2020.03)
- * 令和元年度文化庁芸術祭審査員(演劇部門)
- * 文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員
- * 所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

竹内 有一

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- * 2017.04-2020.03 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C) 17K02284「常磐津節の復元的上演に関する基礎的研究」研究代表者
- * 2019.04-2020.03 令和元年度京都市立芸術大学特別研究助成「崇仁・その祭り囃子・芸大を軸にした楽器づくりとその手法に関する研究 ―地域のワザとの連携の未来をえがく―」研究代表者
- * 2019.04- 継続中 日本伝統音楽研究センター共同研究「下京・大学から発信する日本音楽研究」研究代表者

◆著作

- * 2020.03.31 編著『『都の錦』—『都の錦・老の戯言』その一—』(常磐津節の伝承資料に関する調査報告書二〇一九年度、文化庁補助事業)、常磐津節保存会、92pp
- * 2020.02.09 執筆・編集(共同)「プロフィール」「趣旨と経緯」「『帯文桂川水』解説と詞章」「薄物正本『帯文桂川水』影印」「常磐津家元所蔵浄瑠璃本 調査書目一覧」、『第五六回公開講座資料』、第

56 回公開講座「240年を経てよみがえる常磐津二題」日本伝統音楽研究センター、38pp

- * 2020.02.09 詞章補綴(共同) 常磐津「緑増常磐緑」「帯文桂川水」、第56回公開講座「240年を経てよみがえる常磐津二題」日本伝統音楽研究センター
- * 2019.05.11 解説「舞楽：萬歳楽」「地歌舞：竹生島」「常磐津：景清」「清元舞踊：流星」「箏曲：手事、箏のための二つの相 I、『水三題』より大河の夕」「長唄舞踊：賤機帯」、「出演者素描」(8名)、国立文楽劇場第35回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-8
- * 2019.8.10 解説「鳴物・長唄：高砂丹前」「長唄・鳴物・義太夫：素襖落」「長唄：三曲糸の調」「義太夫舞踊：道行恋苧環」、国立劇場歌舞伎音楽既成者研修発表会『第21回音の会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.2-6
- * 2019.11.09 執筆・図版提供・編集「プログラム」「曲目解説」「プロフィール」、第149回アスニーコンサート『京都から江戸へ羽ばたいた常磐津節—融通無碍の魅力—』パンフレット、京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)、4pp
- * 2019.11.09 詞章補綴・編集「乗合船恵方万歳」「忍夜恋曲者」、第149回アスニーコンサート『京都から江戸へ羽ばたいた常磐津節—融通無碍の魅力—』配布資料、京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)、4pp
- * 2019.12.11 編集「資料集『常磐津の語る、世界を深掘り』」、関西伝統芸能女流振興会主催『べにの会』その3 配布資料(大阪道頓堀 ZAZA POCKET'S)、4pp
- * 2020.01.09 編集(共同)「三味線音楽のイントロダクション」、日本伝統音楽研究センター主催2019年度第9回伝音セミナー配布資料、日本伝統音楽研究センター、4pp
- * 2020.02.22 編集「講座 常磐津節にきく六歌仙」配布資料、宇治市源氏物語ミュージアム、4pp
- * 2019.08 寄稿「出演者によるアスニーコンサートの紹介」(第149回アスニーコンサート『京都

から江戸へ羽ばたいた常磐津節一融通無碍の魅力一』、『まなびすと』vol.39、京都市生涯学習振興財団、p.4

◆講演・口頭発表等

- * 2019.04.26-07.26 でんおん連続講座C「常磐津節実践入門 その9」(全7回)、日本伝統音楽研究センター
- * 2019.06.22 解説「常磐津について」、江川文庫主催「重要文化財江川邸で聴く常磐津演奏会」、江川邸(伊豆の国市)
- * 2019.11.09 解説・司会・ワークショップ「京都から江戸へ羽ばたいた常磐津節一融通無碍の魅力」第149回アスニーコンサート、京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)
- * 2019.12.11 トーク(共同)「常磐津のゝ語る、世界を深掘り」、関西伝統芸能女流振興会主催『べにの会』その3、大阪道頓堀 ZAZA POCKET'S
- * 2019.12.13-2020.03.06 でんおん連続講座D「常磐津節実践入門 その10」(全5回)、日本伝統音楽研究センター
- * 2019.12.14 司会・構成「京都で三味線、つくったり、弾いたり、しゃべったり」(ゲスト:野中智史)、伝統芸能を楽しく学ぶ有志の会、流響院(左京区)
- * 2020.01.09 解説・構成(共同)「三味線音楽のイントロダクション」、日本伝統音楽研究センター主催2019年度第9回伝音セミナー、日本伝統音楽研究センター
- * 2020.02.09 解説・構成(共同)「240年を経てよみがえる常磐津二題」、日本伝統音楽研究センター主催第56回公開講座、日本伝統音楽研究センター
- * 2020.02.22 解説・実演ワークショップ・構成「講座 常磐津節にきく六歌仙」、宇治市源氏物語ミュージアム講座室

◆メディア報道

- * 2019.05.11 インタビュー「子どもと学生一緒に「そーれ」崇仁地域でお囃子稽古」『京都新聞』朝刊
- * 2020.02.17 インタビュー「常磐津で「お半

長右衛門」一桂川への心中物語、京都市立芸大が復曲一」『京都新聞』朝刊

◆学術貢献活動

- * 文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)
- * 東洋音楽学会機関誌 査読担当
- * 東洋音楽学会第70回大会実行委員会 委員
- * 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査(国立劇場・国立文楽劇場・京都南座・大阪松竹座・歌舞伎座・関西常磐津協会ほか)
- * 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
- * 詞章本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成

◆社会貢献活動

- * 京都市立芸術大学公認クラブ「常磐津部」顧問・指導
- * 崇仁祭囃子(崇仁お囃子会)伝承支援
- * 2019.05.12 楽市洛座春まつり 船鉾・曳山巡行、祭囃子参加
- * 2019.07.27 崇仁児童館 祭り囃子体験教室 企画・指導
- * 2019.08.10 楽市洛座夏まつり 祭囃子・模擬店参加
- * 2019.11.02-04 芸大祭 模擬店参加
- * 2019.12.07 崇仁児童館 餅つき参加

◆演奏(常磐津節浄瑠璃方、芸名:常磐津 若音太夫)

- * 2019.04.06 常磐津節「松島」(舞踊)、「将門」、常磐津三都責20周年記念つくし会、高知県立美術館ホール
- * 2019.04 常磐津節「奴道成寺」(歌舞伎)、公文協中央コース松竹大歌舞伎
- * 2019.05.11 常磐津節「景清」、国立文楽劇場第35回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊邦楽鑑賞会』、国立文楽劇場
- * 2019.06.22 常磐津節「三保の松」「将門」、江川文庫主催「重要文化財江川邸で聴く常磐津演奏会」、江川邸(伊豆の国市)
- * 2019.07.07 常磐津節「雷船頭」、七条大橋をキ

レイにする会主催「七条大橋絆コンサート」、集西
楽サカタニ（東山区）

- * 2019.07.26 常磐津節「釣女」、第10回常磐津
節試演会 音全会、日本伝統音楽研究センター合同
研究室
- * 2019.08.04 常磐津節「雷船頭」、登録有形文化
財七条大橋ライトアップ点灯式、下京区七条大橋特
設ライブ会場
- * 2019.09 常磐津節「蜘蛛糸梓弦」（歌舞伎）、公
文協西コース松竹大歌舞伎
- * 2019.10 常磐津節「身替座禅」（歌舞伎）、吉例
顔見世、御園座
- * 2019.11.09 常磐津節「乗合船」「将門」、第
149回アスニーコンサート「京都から江戸へ羽ば
たいた常磐津節—融通無碍の魅力—」、京都市生涯
学習総合センター（京都アスニー）
- * 2019.11.09 常磐津節「三ツ面子守」、第129
回本のもりの小さな音楽会「三味線による伝統芸
能」、京都市中央図書館
- * 2019.12 常磐津節「戻駕」「釣女」、吉例顔見世
興行、京都南座
- * 2020.01.26 常磐津節「うつぼ猿」、京都市主催
高瀬川オープンカルチャーフォーラム2020、京
都美術工芸大学東山キャンパス
- * 2020.02.03 常磐津節「屋敷娘」、京都市主催
「ようこそ和の空間 伝統芸能とくべつ授業」、金剛
能楽堂
- * 2020.02.09 常磐津節「帯文桂川水」、日本伝統
音楽研究センター主催第56回公開講座「240年
を経てよみがえる常磐津二題」、日本伝統音楽研究
センター
- * 2020.02.14 常磐津節「節句遊恋の手習」「宗
清」、常磐津節保存会主催 第5回伝承事業成果発表
会（文化庁補助事業）、ロームシアター京都ノース
ホール
- * 2020.02.21 常磐津節「乗合船」、無題の会、パ
ガニーニサロン（中京区）
- * 2020.02.22 常磐津節「関の扉」「栗餅」「双面」
「松島」、宇治市源氏物語ミュージアム主催「講座
常磐津節にきく六歌仙」、宇治市源氏物語ミュージ

アム講座室

◆作品

- * 2019.09.28-11.03 作品素材提供（共同）、京
都市立芸術大学主催『still moving library』、ギャ
ラリー@KCUA
- * 2019.12.17-22 作品制作・作品展示「常磐津
と若音太夫Ⅱ」、常磐津部主催『第二回 常磐津部
展』、京都市立芸術大学大ギャラリー

◆所属学協会

- *（一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、
歌舞伎学会、洋学史研究会
- * 常磐津協会、（一社）関西常磐津協会

◆学外委員

- * 文化庁 文化審議会文化財分科会 第四専門調査会
委員
- * 芸術文化振興会 芸術文化振興基金運営委員会 文
化団体活動専門委員会委員
- * 令和元年度 伝統芸能用具・原材料に関する調査委
員会委員（文化庁委託事業、京都市文化芸術協会）
- * 京都市芸術文化特別奨励制度 審査委員会専門委員
会委員
- * 京都市伝統芸能文化復元・活性化プログラム 審査
会委員
- * 京都市伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委
員
- * 崇仁まちづくり推進委員会理事
- *（公社）文楽協会理事（2020.06～）

◆学内委員・役職（～2020.03）

- * 京都市立芸術大学：理事、経営審議会委員、教育研
究審議会委員、評価委員会委員、人事組織委員会委
員、施設整備に関する会議 副座長、将来構想会議
委員
- * 日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、将
来構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、
移転対策委員会 副委員長、人事組織委員会 副委員
長

◆担当科目

- * 後期 テーマ演習15「お酒に学ぶ」、京都市立芸
術大学美術学部
- * 前期／後期 日本伝統音楽基礎演習 a1～4、京都

市立芸術大学大学院音楽研究科

- * 前期／後期 日本伝統音楽研究 a1～4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 後期 音楽学特殊研究 h II・IV、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 後期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部
- * 後期 京都文化学基礎演習Ⅳ、京都府立大学文学部

武内 恵美子

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- * 2016.04-2020.03 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 16K03022 「江戸時代の藩校における音楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合的研究」研究代表者
- * 2019.04-2020.03 令和元年度京都市立芸術大学特別研究助成「大英博物館所蔵平松琴仙音楽資料群の調査及び基礎研究」研究代表者

◆著作

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 監修『知りたい！日本の伝統音楽』第1巻 「受けつごう！ 伝統音楽の今後」(ミネルヴァ書房、2020) 責任監修

◆講演・口頭発表等

- * The Creation and Reconstruction of Saibara in the Edo Period: Uragami Gyokudō's Attempts to Reproduce the Musical Culture of Heian Japan
2019年9月15日 EAJS、於：筑波大学
- * 「从日本雅乐的古乐谱复原唐代的古琴曲」2019年9月28日、第二届敦煌乐舞国际学术研讨会、於：西安音乐学院西北民族音乐研究中心
- * 正倉院フォーラム2019 東京 パネルディスカッション「見て・聴いて・感じる 正倉院の世界 皇室がまもり伝えた美」2019年9月29日、東京読売新聞ホール
- * 唐代古琴の調律解明の可能性について一新出資料「平群秀茂目録」から 2019年11月24日、中日音楽比較研究国際学術シンポジウム、於：福州大学

- * 「日本の雅楽から唐代の古琴曲を復元することについて」2019年12月13日、於：山東大学威海校

◆学内活動

学術委員会委員長、国際交流委員会委員長、情報管理委員会副委員長、芸術資源研究センター運営委員、芸術資源研究センター副センター長、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員(全学)、リポジットリ運営委員会委員(全学)

日本音楽史Ⅱ、日本伝統音楽演習 bl・III、日本伝統音楽演習 bli・IV、原点研究(日本古典)Ⅰ・III

◆対外活動

- * 京都府立大学非常勤講師(2019.04-2019.09)
- * 京都造形芸術大学非常勤講師(2017.04-2019.09)
- * 文化庁芸術祭委員(関西・音楽部門)、文化庁芸術選奨推薦委員
- * ICTM 世界大会セッション司会

◆所属学協会

日本音楽学会、東洋音楽学会、楽劇学会、名古屋芸能文化会、ICTM、EAJS

田鍬 智志

◆著述

- * 2020・03・31 「當麻寺来迎会和讃の旋律様式と迎講音楽前史」第1部 調査報告 第9章、「光明寺(京都府長岡京市)」第3部 各地の来迎会調査報告 第9、葛城市教育委員会編・発行『當麻寺二十五菩薩来迎会(聖衆来迎練供養会式)調査報告書』pp77～93、pp209～212。

◆監修

- * 2020・03・30 『知りたい！日本の伝統楽器—② 見てみよう！日本の伝統楽器—』、ミネルヴァ書房。

◆講演

- * 2019・06・11 鳥取市民大学特別講座『【試論】競馬節会行幸の舞楽《蘇芳菲・狛龍》から因幡の麒麟獅子舞へ』、於鳥取市文化センター。
- * 2019・08・08 伝音セミナー『昭和時代の“現代音楽”発掘』、田鍬智志・竹内直、於日本伝統音

楽研究センター合同研究室 1。

- * 2019・11・18『遠州森町の舞楽・舞楽食一食文化～次世代に繋ぐ～』第一部「小國神社舞楽《色香》の舞一解説・実演一」田鍬智志・北島恵介・白幡富幸・小國神社古式舞楽保存会、ふじのくにラボ主催、於静岡文化芸術大学。

◆ 調査・その他

- * 2019・04・15 西山雅楽会聞き取り調査（長岡京市）
- * 2019・04・20-21 隠岐国分寺蓮華会舞調査（隠岐の島町）
- * 2019・04・23 光明寺御忌会調査（長岡京市）
- * 2019・05・01 賀茂競馬足汰式調査（京都市）
- * 2019・05・03 日吉神社神幸神事調査（米子市）
- * 2019・05・05 賀茂競馬競馳調査（京都市）
- * 2019・06・04-06 玉若酢命神社御霊会風流調査（隠岐の島町）
- * 2019・10・24 當麻寺西南院来迎会聞き取り調査（葛城市）
- * 2020・03・15 東佐味六斎念仏復興プロジェクト第1回会議

◆ 学内活動

- * 担当科目：日本音楽史 I（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典（大学院音楽研究科）
- * 自己点検評価委員会、学生委員会
- * 大学院修士入試委員会、教務委員会

◆ 対外活動

- * 當麻寺二十五菩薩来迎会（練供養）調査委員会委員
- * 東佐味六斎念仏復興プロジェクト

齋藤 桂

◆ 著作活動

- * 「音楽評」『朝日新聞』10月25日夕刊（大阪本社版以外）、11月7日夕刊（大阪本社版）
- * 「メディア時評」(1)～(4)『毎日新聞』12月26日、1月30日、2月27日、3月26日、いずれも朝刊。
- * 「書評：原克『騒音の文明史：ノイズ都市論』」『日

本経済新聞』2020年3月21日朝刊。

◆ 調査

2019年10月26日～28日 石巻市桃生総合センター「股旅演芸東北大会」調査。

◆ 学内活動

- * 全学広報委員
- * ギャラリー@KUA 運営委員
- * 情報システム管理委員

◆ 対外活動

- * 日本音楽学会西日本支部委員
- * 東洋音楽学会第70回大会実行委員
- * 所属学会 日本音楽学会、東洋音楽学会、European Association for Japanese Studies

◆ 科研費

- * 研究代表者：基盤研究(C)「近現代日本における「股旅もの」芸能の研究」2019-2021年度。
- * 研究分担者：国際共同研究加速基金「東欧の音楽文化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」（研究代表者：伊東信宏）2019-2023年度。